

1 「たくましく生きる力育成プログラム」とは？

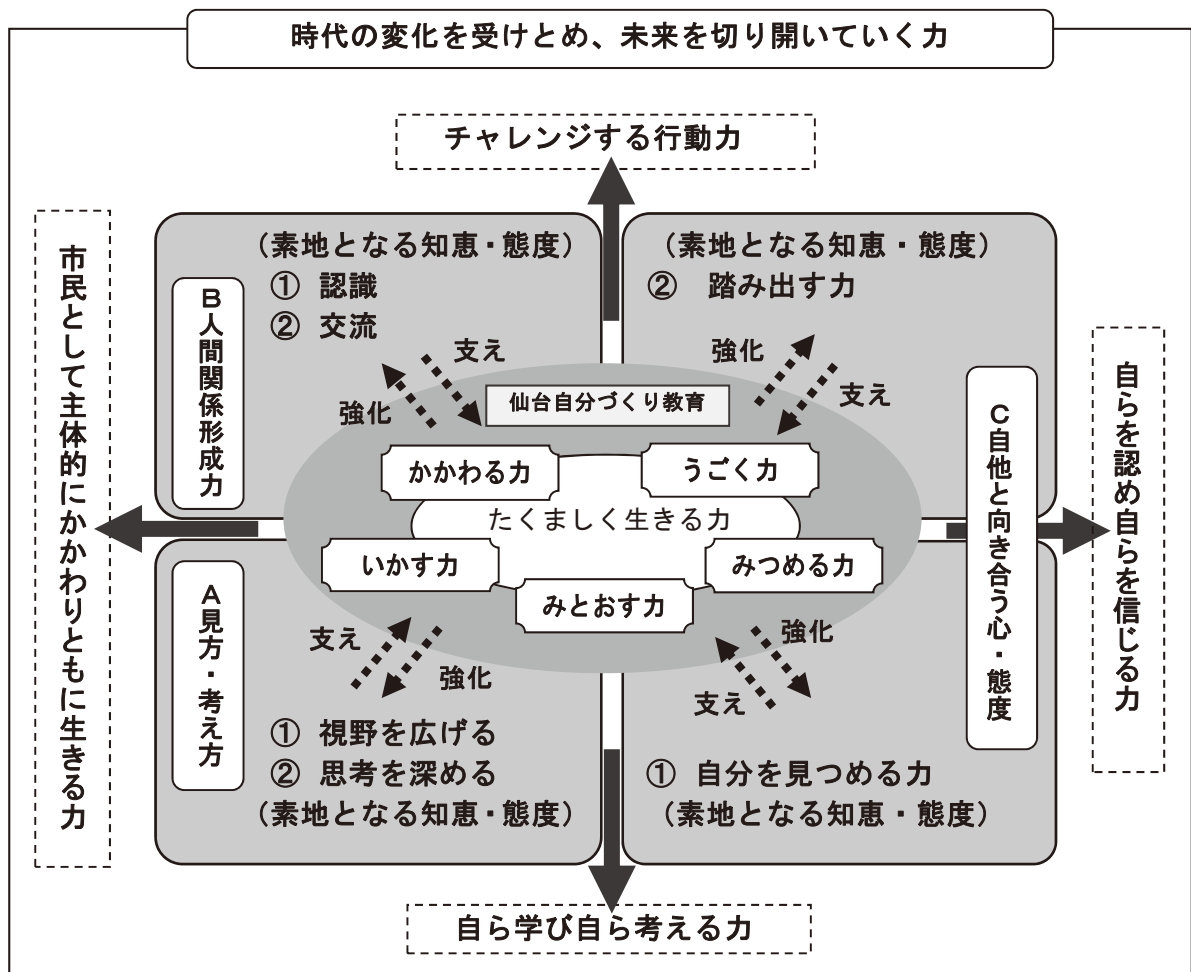
(1) たくましく生きる力育成プログラムとは何か

たくましく生きる力育成プログラムとは、「たくましく生きる力」（自分づくり教育でめざす、かかわる力・うごく力・いかす力・みとおす力・みつめる力）を育成するための学習プログラムです。

(2) プログラムの基本構想

「たくましく生きる力」を育てるには、その前提として、「たくましく生きる力」を支える基盤となる素地としての「知恵・態度」（「見方・考え方」「人間関係形成力」「心・態度」）を同時に育む必要があります。そうした素地となる「知恵・態度」は、5つの力（かかわる力・うごく力・いかす力・みとおす力・みつめる力）を身に付けていく過程で強化され、より確実に「たくましく生きる力」を育むことにつながっていきます（下図参照）。

※5つの力と「知恵・態度」との関連については、P.18 も合わせてお読みください。



「たくましく生きる力」とその素地となる「知恵・態度」の関係図

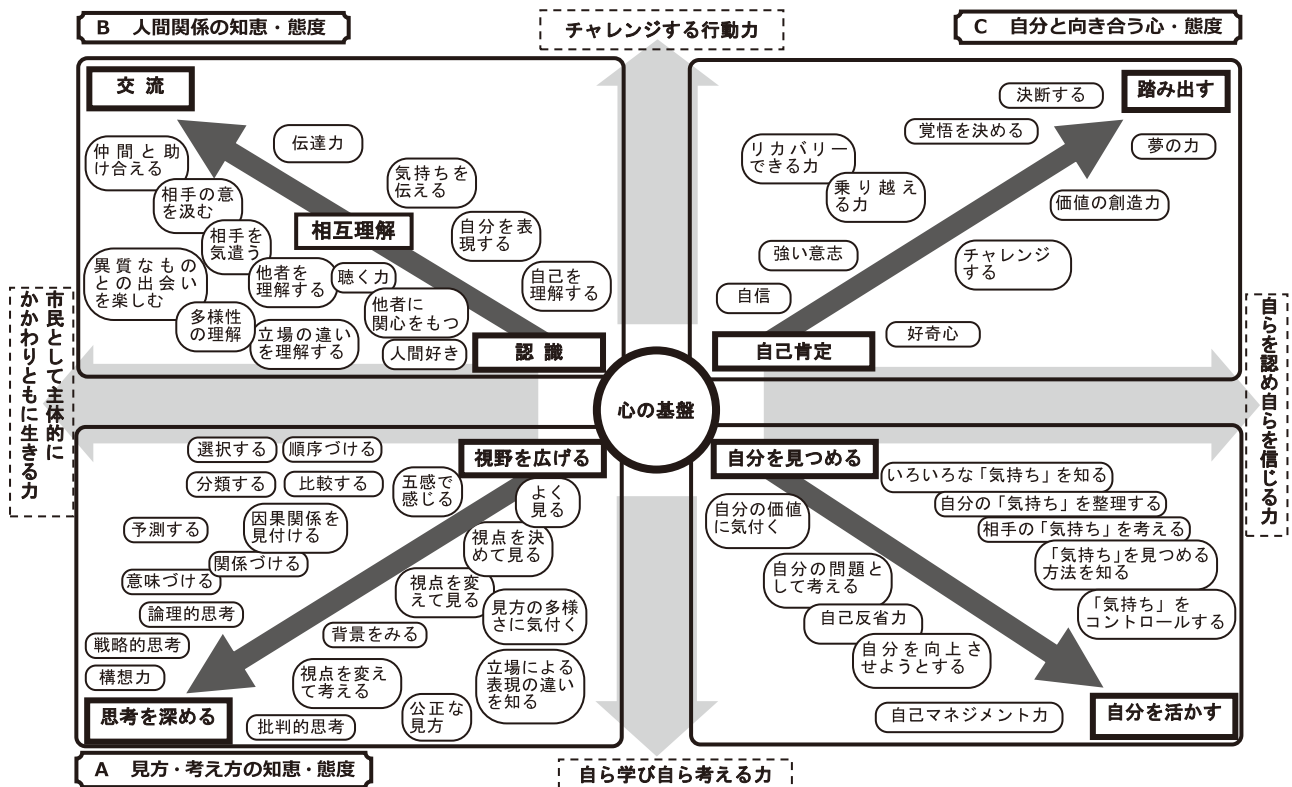
※は仙台市教育振興基本計画（平成24年3月策定）において、今後10年で育む「時代の変化を受けとめ、未来を切り開いていく力」として掲げている4つの力。第2期仙台市教育振興基本計画（平成29年1月策定）においても継承している。「たくましく生きる力」の育成は、この4つの力に迫るための、学校教育における重要な取組の一つである。

(3) たくましく生きる力育成プログラムで育てる「知恵・態度」

「知恵」とは、当面の問題を解決するだけでなく、「よりよく生きていく」ために必要となる知識の使い方や（応用する）技能を指します。

ここでいう知識とは、教科の内容としての知識ではなく、新しいものを追究したり、分からないものを解決したりしながら「よりよく生きていく」ために必要となる知識です。また、獲得した知恵を実践に移そうとする「態度」も含めて「知恵・態度」と呼びます。

たくましく生きる力育成プログラムでめざす子供たちに身に付けさせたい「知恵・態度」は、大きく「幅広い見方・考え方」「人間関係を形成する力」「心・態度」に分類でき、その中には下記資料のようなキーワード等で表される「知恵・態度」の具体が考えられます。



(資料) 「たくましく生きる力育成プログラム」でめざす子供たちに身に付けさせたい「知恵・態度」を含めた要素

2 なぜ「たくましく生きる力育成プログラム」が必要なのか

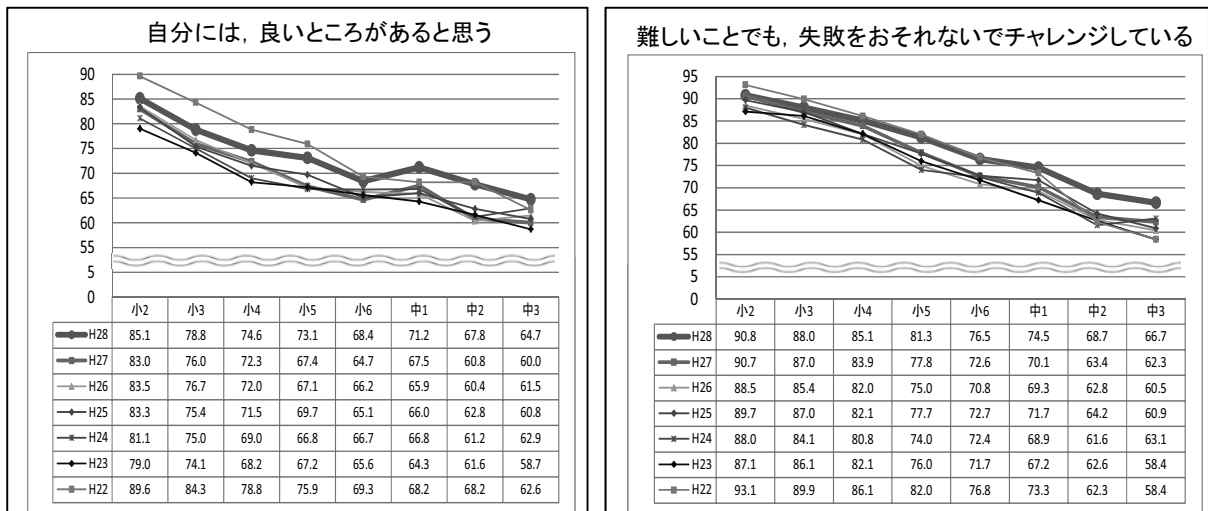
子供たちが変化の激しい社会をたくましく生きるためには、「幅広い見方・考え方」「人間関係を形成する力」「自分及び他者と向き合う心・態度」の基本となる知恵や態度を同時に身に付けておくことが必要となります。

例えば、「かかわる力」を育みたいと思っても、社会体験の不足などから、「他者に関心をもつ」「他者の話に耳を傾ける」などの素地となる知恵や態度を自然に身に付けることが難しくなっており、その結果、学校での学びが浸透しにくくなっているという現状が指摘されています。

このような傾向は本市においても同様であり、学校ヒアリングや自分づくり教育担当者研修会での中学校区ごとの情報交換、たくましく生きる力育成プログラム検討委員会などから、以下のような子供の姿が報告されています。

- ・ 自己肯定感が低い。
- ・ 対人関係能力やコミュニケーション能力が低下している。
- ・ 一つの正解のみに効率的にたどり着こうとする思考が強い。
- ・ 正解を言えないとダメと思い込み、間違いや他人との違いを恐れる。
- ・ 失敗を恐れずにチャレンジすることや、失敗をリカバリーすることができない。
- ・ 問題行動の現れ方が多様化しており、問題行動そのものに自覚のない子も多い。

平成 28 年度実施の仙台市生活・学習状況調査では、以下の結果も見られています。



学年を追うごとに自己肯定感が低くなり、自分に自信がもてなかったり、難しいことにチャレンジしなくなったりする子供たちが増える様子が続いています。このような状況に対して具体的な手立てを講じていく必要があると考え、その一つとして、学識者や企業関係者、学校教員と市教委が協働し、発達段階に応じて意図的・計画的に、社会的自立の素地とともに、「たくましく生きる力」を育む「仙台自分づくり教育の授業プラン」の開発に取り組んできました。それが「たくましく生きる力育成プログラム」です。

3 たくましく授業プラン集の活用

(1) プログラムの実施イメージ

① 教育課程上の位置付け

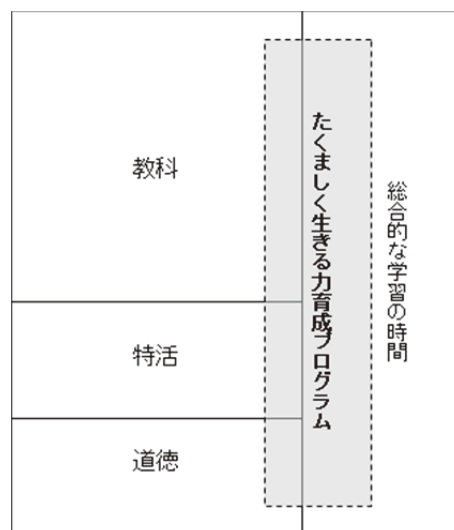
「たくましく生きる力」の素地となる「知恵・態度」を始めとする5つの力は、教科等の学習の目標や内容と密接にかかわっています。学習プログラムは、各教科、特活、道徳、総合的な学習の時間の中で実施していくことになります。どの内容をどの時間で実施すると効果的かということは「関連教科」として授業プランに例示しています。

② 自分づくり教育の年間指導計画への位置付け

学習プログラムの実施効果を高めるためには、発達の段階や子供たちの実態に応じて、適切なタイミングで、適切な内容の授業を実施していくことが大切です。「たくましく生きる力」育成プログラムの授業は自分づくり教育の年間指導計画に位置付けて意図的に実施していくことが効果的です。

③ たくましく生きる力育成プログラムの授業の活かし方

「たくましく生きる力」育成プログラムの授業の趣旨を活かすためには、この授業で学んだ、素地となる「知恵・態度」を始めとする5つの力の必要感や有用感を実感できるようにすることが大切です。教科学習をはじめ、学校生活、学級生活の様々な場面で関連付けて指導できるように配慮していくことが必要です。



教育課程上の位置付けのイメージ

(2) たくましく生きる力育成プログラムの授業で大切にしたいこと

① 教師自身が授業のねらいを明確に捉えましょう。

② 答えが一つとは限らない課題をできるだけ提示しましょう。

③ 一人一人が自分の考えを話す、全員参加型の授業にしましょう。

展開の例：自分の考えをもつ→ペアで話す→グループで話す→全体で発表

④ 自分の身に置き換えて考えることができるようにするため、ロールプレイ的な要素を多く取り入れましょう。

⑤ シンプルな題材から、場面設定やストーリーを通して考える題材へと発展させていきましょう。

⑥ 授業の終盤に授業の意義、その授業で扱った素地となる「知恵・態度」を始め、5つの力が大人になってどう役立つか（合理性・有用性）気付かせたり、教師から伝えたりしましょう。

⑦ 授業で扱った素地となる「知恵・態度」を始め、5つの力を現実の生活の中で活用してみようとする気持ちを高めましょう。

⑧ 児童・生徒が考えたプロセスをできるだけ肯定的に捉え、認めてあげましょう。

⑨ 言葉として表出できなくても、その子なりの「思い」「気付き」「共感」を受容しましょう。

- ⑩ すぐに子供たちの変容が見られるもの、類似したプランをいくつか積み重ねることで少しずつ変容していくものなど、様々です。「たくましく生きる、成長のための種まき」の気持ちで、変容をあせらず、子供の成長を見守っていきましょう。「複数のプランを終えて、学級が変わったと実感した」は多くの授業プラン実践協力委員が語った、実践後の率直な感想です。

(3) 授業プラン集の特徴

たくましく生きる力育成プログラム授業プラン集は、「仙台自分づくり教育の授業」として、すぐに学校で活用できるように、授業プランを仙台自分づくり教育ではぐくむ5つの力（かかわる力・うごく力・いかす力・みとおす力・みつめる力）ごとに分類してあります。「みつめる力」はさらに「自己肯定感」と「気持ちをコントロールする力」に分けました。

(4) 授業プランの選択について

5つの力に分類した各章の扉ページには、「こんな子供たち・学級になってほしい」という項目ごとに、プランを整理して記載しています。子供たちの実態や教師の願いに合わせて授業プランを選択してください。

また、実施を推奨する学年についても記載しています。学年はあくまでも参考であり、プランの実施学年を固定するものではありません。推奨する学年以外でも、実態に応じてプランをアレンジして実施してください。実施時間についても、必ず記載されているコマ数で実施しなくてはならないというものではありません。授業プランのエッセンスや活動の一部を取り出して、朝の会や帰りの会、教科の学習の中に組み入れるといった工夫もしてみましよう。

かかわる力

を育てる授業プラン

A 気持ちや考えをすすんで伝えられるようになってほしい!

- 3. 気持ちを伝えよう 【低学年】 P.21
- 7. みんなで詩をつくろう 【中学年】 P.25
- 8. 気持ちを伝える名人になろう! 【中学年】 P.26
- 9. さわやかな自己主張 【中学年】 P.27
- 10. あいさつは自分を変える第一歩 【中学年】 P.28
- 14. グループでコマ撮りアニメーションをつくろう 【高学年】 P.32
- 18. いらないものを使い道 【中学生】 P.36

- 望ましい人間関係をつくる力
- すずんで考えや気持ちを伝え合う力
- 人や地域を大切に、協力する力

C 相手の意をくみ取ることができるようになってほしい!

- 3. 気持ちを伝えよう 【低学年】 P.21
- 8. 気持ちを伝える名人になろう! 【中学年】 P.26
- 12. 話の聞き方と話の伝え方 【高学年】 P.30
- 13. 途切れないように! 会話のリレー 【高学年】 P.31
- 15. 泉ヶ岳の自然とともに 【高学年】 P.33
- 16. 相手の気持ちを考えて話を聴こう! 【中学生】 P.34
- 17. 相手を思いやるコミュニケーション 【中学生】 P.35
- 19. ノンバーバルコミュニケーション 【中学生】 P.37

B 相手を気づかうことができるようになってほしい!

- 1. 即興表現を楽しもう 【低学年】 P.19
- 2. 体と頭を使って交流しよう 【低学年】 P.20
- 4. 心と体をほぐそう 【低学年】 P.22
- 5. 「にほんごであそぼう」(百人一首を例に) 【低学年】 P.23
- 6. ふれあい囲碁をしよう 【中学年】 P.24
- 8. 気持ちを伝える名人になろう! 【中学年】 P.26
- 9. さわやかな自己主張 【中学年】 P.27
- 10. あいさつは自分を変える第一歩 【中学年】 P.28
- 11. 人間コピー 【高学年】 P.29
- 12. 話の聞き方と話の伝え方 【高学年】 P.30
- 13. 途切れないように! 会話のリレー 【高学年】 P.31
- 16. 相手の気持ちを考えて話を聴こう! 【中学生】 P.34
- 17. 相手を思いやるコミュニケーション 【中学生】 P.35
- 19. ノンバーバルコミュニケーション 【中学生】 P.37

E 仲間となかよく助け合えるようになってほしい!

- 1. 即興表現を楽しもう 【低学年】 P.19
- 7. みんなで詩をつくろう 【中学年】 P.25
- 14. グループでコマ撮りアニメーションをつくろう 【高学年】 P.32
- 2. 体と頭を使って交流しよう 【低学年】 P.20
- 11. 人間コピー 【高学年】 P.29
- 15. 泉ヶ岳の自然とともに 【高学年】 P.33

D 仲間となかよく競い合えるようになってほしい!

- 5. 「にほんごであそぼう」(百人一首を例に) 【低学年】 P.23
- 6. ふれあい囲碁をしよう 【中学年】 P.24
- 20. 決めつけられないよ~昔話の模擬裁判~ 【中学生】 P.38

たくましく生きる力育成プログラムについて

5

(5) 授業プランの見方について

3 (小学校)

授業プラン名：気持ちを伝えよう

育みたい知恵や態度：交流（気持ちを伝える）

対象学年：小学校低学年 関連教科：学級活動

時間：1コマ（45分） 実施時期：随時

プランとかかわりのある教育事業・教育課題を表しています。

いじめ防止

授業プランの基本となる情報を記載しています。関連教科は、ねらいの設定の仕方や展開によって、その教科で取り扱うことができる場合があります。ものについて記述しています。

プランをアレンジすることで、対象学年以外でも実施することができます。

実施前後の姿

自分の気持ちを伝え、相手の気持ちを受け止めることが大切であることを知っている。

相手の立場を考え、自分と異なる気持ちを共感的に理解することが大切であることを知っている。

相手の立場を考え、よりよい関係を築きながら互いの気持ちを伝え合うことができる。

このプランで育む「知恵や態度」、プランのねらい、実施前後の姿を図示しています。

方は人によって違うことを知る。自分と相手は人によって違うことを知る。自分と相手は人によって違うことを知る。自分と相手は人によって違うことを知る。

プランのおおまかな流れ、活動内容を記載しています。授業のイメージがつかみやすいように、簡潔にまとめています。子供たちの実態に応じて、アレンジを加えながら実践してください。

2 3人1組で気持ちを伝え合う

※ 「気持ちカード」をグループに配布する。

- ・ うれしい、かなしい、いらいらなどのカードを用意しておく。
- ・ 自分が引いたカードを最初は表情で伝え合う。（言葉を出さないようにさせる）
- ・ カードを渡し直し、身振り手振りを加えて伝え合う。

3 上手な気持ちの伝え方を知る

- ・ グループ毎に代表1名が発表し、どんな気持ち表現しているか考える。
- ・ うれしい、たのしい、かなしい、いらいら、ぷんぷん、いやだ、さみしい、こまった等、代表の人数分「気持ちカード」を用意する。
- ・ 友達の表現のよいところを発表する。
- ・ 気持ちが伝わったときにどう思ったか、伝える側の感想も取り上げるようにする。

4 活動のまとめ

振り返ろう 自分の気持ちはきちんと伝えよう

- 気持ちを伝えることは必要なこと。
- 相手の気持ちを上手に受け止めることが大切。
- 気持ちが伝わると、とてもうれしいね。

振り返ろうは、この授業プランから、子供たちに学んでほしい内容について記述しています。子供たちから引き出したり、教師がまとめとして伝えたりしてもよいでしょう。

※授業展開によっては表現を変えた方がより子供たちに伝えることがあります。展開に応じて柔軟に取り上げててください。

様々な資料が掲載されています。パソコンデスクトップ上のアイコンをクリックしてください。



学びの連携推進室

学びの連携推進室 Web

- ・ ワークシート —
- ・ 学習指導案 ○
- ・ 補助資料 ○

(6) ワークシートと補助資料について

<補助資料>
 頭と体を使って交流しよう
 活動場所 体育館
 準備物 教師 あいうえお表（拡大）、ワークシート
 児童 筆記用具 探検バッグ（バインダー）

活動上の留意点

活動中に留意すること

- 二人組の準備運動を取り入れ、二人の体と心を合わせる楽しさを味わわせる。奇数のクラスは三人でも活動できるよう配慮する。
- 児童一人ひとりがルールをしっかりと理解してから、ゲームにかかることができるようにする。
- コミュニケーションを図ることが苦手な児童には、教師と一緒に活動する。
- 名前覚えゲームで、あ行、か行ごとに集まる。少ないチームは、「めずらしい名前を考えよう」と紹介し、みんなで拍手をして、認め合う雰囲気を作る。

活動の安全を図るために

- 活動中は音楽を流し、音楽に合わせて動くように声掛けする。広い場所での活動なので、走ってぶつかったりしないよう配慮する。

ねらいにせまるために

- 名前覚えゲームは、「自分から進んで相手とかかわる」ことがないので、とまどっている児童に声掛けを行う。また、お互いが気持ちよく話したり聞いたりすることやあいさつをしっかりと行うことも声掛けする。
- 活動後の振り返りの時間を確保し、「友達と一緒に活動することの楽しさ」や「相手を思いやりながら活動することも楽しいこと」など、活動した感想が共有できるようにしたい。


思いを共有するために

- 学級通信などで活動の様子と成果について、家庭に知らせる。

授業後の児童の姿

（活動の様子から）

- 二人組の準備運動を取り入れたことで、協力しあう姿が見られた。
- ロボット操縦では、二人組で、いきいきと活動していた。二人が同じ速さで歩かないと合図を送りにくことに気づき、同じ速さで歩くように合わせていた。
- 名前覚えゲームでは、名前を決めるのにとまどう児童もいたが、友達とかかわっていくうちに、名前を考え楽しく参加することができた。



<エレベーター> <船ごっこ> <ロボット操縦> <名前覚えゲーム>

（児童の感想から）

- ロボットでうごかすのがたのしかった。いろいろな名前があっっておもしろかった。

授業プランを、各学校で効果的に実践できるように、補助資料を作成いたしました。

授業プランは、授業の流れが一目で分かるように、簡潔にまとめてあります。「ねらいに迫るためには、どのようなことに留意すればいいのか」「この授業を通して、子供たちはどのような感想をもつのか」など、プランについてより詳しく知りたいときは、学びの連携推進室 Web ページにて配信している「補助資料」を参照してください。

補助資料には授業の準備物や指導上の留意点、実践してみて、子供たちがどのような学びを得ることができたか、分かりやすくまとめています。プランを実践する前に、ぜひ一読してみてください。

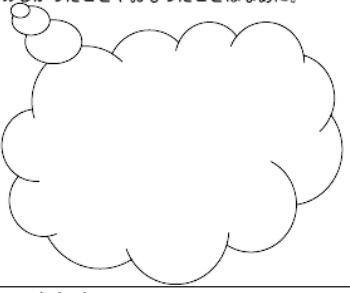
補助資料例

<ワークシート>

たくさん楽しく遊べる準備運動プログラム ワークシート **頭と体をつかってこうりゅうしよう**

年 ぐみ なまえ

「頭と体をつかってこうりゅうしよう」のゲームをしたのしかったことやおもったことはなかに。



今日のまとめ

♡ どうして たのしくできたのかな？

ともだちといっしょだから

ともだちのことをおもって（きづかって）

ゲームをしたから

いろいろなきもち

月 日 () 名まえ

かおの え	きもち	どんなときに こんなきもちに なるのかな？

かんそう

ワークシート例

プランを実践した先生方が作成し、授業の中で実際に使用したワークシートも Web ページにあります。授業プランの教育効果を高めるために、ぜひご活用ください。

ワークシート・補助資料は下記ページからダウンロードしてください
 学びの連携推進室 Web ページ（木のマークのアイコンをクリック⇒）

<http://www-in.sendai-c.ed.jp/advance/>



4 たくましく生きる力育成プログラムの教育活動への位置付け

(1) 自分づくり教育全体計画への位置付け

各学校において子供たちの実態に応じて、たくましく生きる力育成プログラムを選択し、自分づくり教育への位置付けを進めていきましょう。まずは各学校で整理されている「自分づくり教育全体計画」の中に、「たくましく生きる力」育成プログラムを位置付けましょう。

『自分づくり教育』全体計画(例) 平成29年度 仙台市立〇〇小学校

児童の実態 地域の実態 社会的背景 杜の都の学校教育等	学校教育目標 確かな力と豊かな心を持ち、たくましく生きる子供の育成 (めざす子供像) ○励まし合い、助け合う子供 ○心と体を鍛える子供 ○自ら学び、考える子供	児童の願い 保護者の願い 教職員の願い 等																			
家庭・中学校区連携 ○早寝、早起き、朝ご飯の生活習慣の確立 ○あいさつ運動 ○学校支援地域本部の活用	『自分づくり教育』 「仙台自分づくり教育」は、児童生徒一人一人が、確かな学力の向上を図るとともに、人とのかかわりを大切にしながら、将来の社会的・職業的自立を目指して必要な態度や能力をはぐくみ、社会人としてより充実した生き方を切り拓いていくことを目的とした教育です。 【育てたい能力】と【具体的な視点】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;"> 【かかわる力】 (ア) 自分や他人の良さや個性を理解できる力 (イ) 考えや気持ちを伝え合う力 (ウ) 人や地域を大切にす力 </td> <td style="width: 50%; text-align: center;"> 【みつめる力】 (ア) 自分の良さや他者との違いを理解できる力 (イ) 自分の役割が分かる力 (ウ) 忍耐力、ストレスをコントロールする力 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;"> 【いやす力】 (ア) 調べる力 (イ) 働くことや学ぶ意味を考える力 (ウ) 情報を生かす力 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> 【うごく力】 (ア) 何事もやり通す力 (イ) 課題を乗り越える力 (ウ) 積極的に挑戦する力 </td> <td style="text-align: center;"> 【みとおす力】 (ア) 自分の役割が分かる力 (イ) 物事を見分ける力 (ウ) 興味や関心を持ち、学ぶ意味を理解できる力 </td> </tr> </table>	【かかわる力】 (ア) 自分や他人の良さや個性を理解できる力 (イ) 考えや気持ちを伝え合う力 (ウ) 人や地域を大切にす力	【みつめる力】 (ア) 自分の良さや他者との違いを理解できる力 (イ) 自分の役割が分かる力 (ウ) 忍耐力、ストレスをコントロールする力	【いやす力】 (ア) 調べる力 (イ) 働くことや学ぶ意味を考える力 (ウ) 情報を生かす力		【うごく力】 (ア) 何事もやり通す力 (イ) 課題を乗り越える力 (ウ) 積極的に挑戦する力	【みとおす力】 (ア) 自分の役割が分かる力 (イ) 物事を見分ける力 (ウ) 興味や関心を持ち、学ぶ意味を理解できる力	総合的な学習の時間 (目標) 横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。 (内容) ○環境 ○地域 ○福祉・生き方 ○情報 ○国際理解 (育てたい力) ○物事にかかわる力 ○自ら判断し、解決する力 ○自分を表現する力 ○物事を理解する力													
【かかわる力】 (ア) 自分や他人の良さや個性を理解できる力 (イ) 考えや気持ちを伝え合う力 (ウ) 人や地域を大切にす力	【みつめる力】 (ア) 自分の良さや他者との違いを理解できる力 (イ) 自分の役割が分かる力 (ウ) 忍耐力、ストレスをコントロールする力																				
【いやす力】 (ア) 調べる力 (イ) 働くことや学ぶ意味を考える力 (ウ) 情報を生かす力																					
【うごく力】 (ア) 何事もやり通す力 (イ) 課題を乗り越える力 (ウ) 積極的に挑戦する力	【みとおす力】 (ア) 自分の役割が分かる力 (イ) 物事を見分ける力 (ウ) 興味や関心を持ち、学ぶ意味を理解できる力																				
各教科指導の重点 ○言語活動の充実 ○基礎的・基本的な知識・技能の習得 ○思考力・判断力・表現力等の育成 ○学習意欲の向上や学習習慣の確立 ○豊かな心や健やかな体の育成	〈学年部重点目標〉 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>低学年</th> <th>中学年</th> <th>高学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【かかわる】 (ア)</td> <td>友達と仲良くし、助け合う。</td> <td>友達の良さに気付き、助け合う。</td> <td>互いの良さを認め合い、高め合う。</td> </tr> <tr> <td>【かかわる】 (イ)</td> <td>自分の考えを持ち発表する。</td> <td>自分の考えを、相手意識を持って伝える。</td> <td>相手の考えを理解した上で、自分の考えを伝える。</td> </tr> <tr> <td>【うごく】 (イ)</td> <td>勉強や仕事を最後までやり遂げる。</td> <td>自分で決めた課題を、最後までやり遂げる。</td> <td>活動を振り返り、より高い目標を立て、やり続ける。</td> </tr> </tbody> </table>	視点	低学年	中学年	高学年	【かかわる】 (ア)	友達と仲良くし、助け合う。	友達の良さに気付き、助け合う。	互いの良さを認め合い、高め合う。	【かかわる】 (イ)	自分の考えを持ち発表する。	自分の考えを、相手意識を持って伝える。	相手の考えを理解した上で、自分の考えを伝える。	【うごく】 (イ)	勉強や仕事を最後までやり遂げる。	自分で決めた課題を、最後までやり遂げる。	活動を振り返り、より高い目標を立て、やり続ける。	〈学校行事との関連〉 総合的な学習の時間における学習内容により、各行事の実施と同様の成果が期待できる場合においては、総合的な学習の時間における学習活動をもって相当する特別活動の学校行事に掲げる各行事の実施に替えることができる。			
視点	低学年	中学年	高学年																		
【かかわる】 (ア)	友達と仲良くし、助け合う。	友達の良さに気付き、助け合う。	互いの良さを認め合い、高め合う。																		
【かかわる】 (イ)	自分の考えを持ち発表する。	自分の考えを、相手意識を持って伝える。	相手の考えを理解した上で、自分の考えを伝える。																		
【うごく】 (イ)	勉強や仕事を最後までやり遂げる。	自分で決めた課題を、最後までやり遂げる。	活動を振り返り、より高い目標を立て、やり続ける。																		
国語 互いの立場や考えを尊重して言葉で伝え合う能力の育成 公共的な事柄に自ら参画していく資質や能力の育成	算数 言葉や数、式、図、表、グラフなどを用いて、問題を解決したり、互いの考えを表現し伝え合ったりする活動の重視	理科 自然現象や生命を尊重する態度、科学的に探求する態度の育成																			
社会 公共的な事柄に自ら参画していく資質や能力の育成	生活 人や社会、自然とかかわる活動を充実し、自分自身についての理解を深める	音楽 音楽のよさや楽しさを感じ、思いや意図をもって表現したり聴いたりする活動の重視																			
図工 自ら作り出す喜びを味わわせ、生活や社会と主体的にかかわる態度、豊かな想像を養うことを重視	家庭 家庭と家庭の役割、食の摂生、消費の在り方の理解、家庭と地域社会との連携、自立的に生きる基礎を培うことを重視	体育 生活にわたって運動に親しむ資質、協力・公正などの態度、最後まで努力する態度を育てる																			
外国語 言葉への自覚を促し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成	たくましく生きる力育成プログラム (各教科において実施) 【重点】みつめる力を育てる授業プラン(ア)自分の良さに気付かせ自己肯定感を高める。 かかわる力を育てる授業プラン(イ)互いの考えや思いを伝え合い、認め合う心を育てる。																				
「道徳」(学校の教育活動全体を通して)指導の重点 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>1・2年</th> <th>3・4年</th> <th>5・6年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Ⅰ 主として自分自身に関すること</td> <td>自分の勉強や仕事をしっかりと行う。</td> <td>自分の特徴に気付き、良いところを伸ばす。</td> <td>より高い目標を立て、希望と勇気を持ってくじけないで努力する。</td> </tr> <tr> <td>Ⅱ 主として人との関わりに関すること</td> <td>友達と仲良くし、助け合う。</td> <td>友達と互いに理解し、信頼し助け合う。</td> <td>互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲良く協力し助け合うこと。</td> </tr> <tr> <td>Ⅲ 主として集団や社会との関わりに関すること</td> <td>働くことの良さを感じて、みんなのために働く。</td> <td>働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働く。</td> <td>働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことをする。</td> </tr> <tr> <td>Ⅳ 主として生命や自然、業事などの関わりに関すること</td> <td>生きることを喜び、生命を大切にす。</td> <td>生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にす。</td> <td>生命がかげがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。</td> </tr> </tbody> </table>	内容	1・2年	3・4年	5・6年	Ⅰ 主として自分自身に関すること	自分の勉強や仕事をしっかりと行う。	自分の特徴に気付き、良いところを伸ばす。	より高い目標を立て、希望と勇気を持ってくじけないで努力する。	Ⅱ 主として人との関わりに関すること	友達と仲良くし、助け合う。	友達と互いに理解し、信頼し助け合う。	互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲良く協力し助け合うこと。	Ⅲ 主として集団や社会との関わりに関すること	働くことの良さを感じて、みんなのために働く。	働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働く。	働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことをする。	Ⅳ 主として生命や自然、業事などの関わりに関すること	生きることを喜び、生命を大切にす。	生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にす。	生命がかげがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。	「特別活動」 (目標)望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。 活動 指導の重点(数字は内容項目) 学級活動 (1)ア 生活上の諸問題の解決 (1)ウ 多様な集団の生活の向上 (2)ア 希望や目標をもって生きる態度の育成 (2)エ 清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解 児童会活動 (1)児童会の計画や運営 (2)異年齢集団による交流 クラブ活動 異年齢集団の交流を深める活動 (3)クラブの成果の発表 学校行事 体験活動を通して気付いたことなどを振り返り、まとめたり発表し合ったりする活動の充実
内容	1・2年	3・4年	5・6年																		
Ⅰ 主として自分自身に関すること	自分の勉強や仕事をしっかりと行う。	自分の特徴に気付き、良いところを伸ばす。	より高い目標を立て、希望と勇気を持ってくじけないで努力する。																		
Ⅱ 主として人との関わりに関すること	友達と仲良くし、助け合う。	友達と互いに理解し、信頼し助け合う。	互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲良く協力し助け合うこと。																		
Ⅲ 主として集団や社会との関わりに関すること	働くことの良さを感じて、みんなのために働く。	働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働く。	働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことをする。																		
Ⅳ 主として生命や自然、業事などの関わりに関すること	生きることを喜び、生命を大切にす。	生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にす。	生命がかげがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。																		
生活の三本柱 ①眼で話を聴く(心で聴く) ②履き物をそろえる(心をそろえ、整える) ③背筋を伸ばす(自分に誇りをもつ)																					

(2) 年間指導計画への位置付け

たくましく生きる力育成プログラムは、各教科や学級活動、道徳、総合的な学習の時間などで実施していくことになります。実施する際には、単発的に行う場合や、単元の中に位置付けて行っていくことも考えられます。子供たちの実態を踏まえ、学校行事や教科の授業の中にたくましく生きる力育成プログラムを組み込むことはできないか検討し、年間指導計画に位置付けて実践するようにしましょう。

みとおす力、かかわる力を中心に作成した自分づくり教育年間指導計画（小学校例）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
各教科	育む力に関する活動を書きます。この学年の場合だと①は「みとおす力」②は「かかわる力」		社会水はどこから ①見学計画を立てよう ②働く人にインタビューしよう 職		理科星の動き ①観察計画を立てよう			1年間の柱となる活動		算数4年のふくしゅうほしゅうのものだ ①学習の計画を立てよう		
特別活動	危険予知トレーニング ①身の回りの危険に気づく たく		たくましく生きる力育成プログラムから実態に応じたものを選んで実施		集団活動スポーツ大会をしよう ①大会の計画を立てよう ②学年で協力しよう		児童会のお祭り〇〇祭りをしよう ①自分たちで計画を立てよう ②たくさんのお客さんと呼ばう		仕事の話聞こう ・幼稚園の先生 ・コンビニの店長さん 職		職にかかわる活動も大切です。	
総合・生活	気持ちを伝える名人になろう ②自分の気持ちを大切に たく		大豆を育てよう 大きく大きく大豆を育てよう ①水やり当番を決めよう ②農家の人に育て方をインタビューしよう 職		たく生き		さわやかな自己主張 ②さわやかタイプで思いを伝える たく		大豆を育てよう 調理しておいしくいただく ①自分たちで調理計画を立てよう		2分の1成人式 なりたい自分を考えよう ①成人式の計画を立てよう ②自分が小さい頃の話を家族にインタビューしよう 職	
道徳	はしのうえのおおかみ ②相手を思いやり、親切にする		たく生き		たく生き		焦点化した2つの力のうち片方だけに該当する場合ももちろんあります。この題材は②かかわる力		よかったね、さっちゃん ②相手を思いやり、親切にする		ほくのはなさいたけど ②相手を思いやり、親切にする	

協働型学校評価・目指す児童の姿

・単元の実施時期を確認しながら、1年間の計画として整理し実践を通して、年間指導計画として仕上げていく。

自分づくり教育年間指導計画（中学校例）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
各教科	定期考査		定期考査		定期考査		定期考査		定期考査		定期考査	
特別活動	他己紹介【かかわる力】(たく)		合唱祭【かかわる力】		文化祭【うごく力】		体育祭【みつめる力】		1年間の柱となる活動		協働型学校評価・目指す生徒の姿	
総合	校外学習【かかわる力】【うごく力】		職場体験活動【िकास力】【うごく力】		働き続けるには【みとおす力】(たく)							
道徳	怒りのしずめ方【みつめる力】(たく)		ゲーム・スマホ・携帯と上手につき合っていこう【みつめる力】(たく)								自信をなくしたら【みつめる力】(たく)	

以下に実施の仕方についていくつか例示しますので、参考にしながら、各学校の年間指導計画のどの部分で実施するとより効果的なのか、検討してください。

ア 総合的な学習の時間(大豆を育てよう)での実施例

大豆について調べよう	大豆の種を植え、世話をしよう	大豆を収穫しよう	豆腐づくりに挑戦しよう
------------	----------------	----------	-------------

(担任の思い)単元の前半で自分から進んで世話ができるように、「うごく力」を育みたい。
 (担任の思い)単元の後半は協力して活動する機会が増えるので、「かかわる力」を育みたい。



大豆について調べよう	たく生きⅠ	大豆の種を植え、世話をしよう	たく生きⅡ	大豆を収穫しよう	豆腐づくりに挑戦しよう
------------	-------	----------------	-------	----------	-------------

たく生きⅠ…うごく力を育てる授業プラン 26.「自分の目標を見つめなおそう」(P.44)

ねらい：具体的な目標を立てることの大切さを理解する。
 良い目標は自分をより成長させてくれる事を理解する。

たく生きⅡ…かかわる力を育てる授業プラン 11.「人間コピー」(P.29)

ねらい：成功を収めるためには、仲間と話し合い、役割分担することが大切であることを理解する。

イ 児童会行事を関連させた実施例

児童会の「遊び祭り」の計画を立てよう	たく生きⅠ	「遊び祭り」の準備をしよう	「遊び祭り」で楽しもう	「遊び祭り」を振り返ろう	たく生きⅡ
--------------------	-------	---------------	-------------	--------------	-------

(担任の思い)グループで準備活動に入る前に、「うごく力」の大切さに気付かせたい。
 (担任の思い)活動を振り返る際、「みつめる力」の授業プランで児童に自信をもたせたい。

たく生きⅠ…うごく力を育てる授業プラン 28.「競争と協力」(P.46)

ねらい：競争と協力の違いに気付かせる。
 どんなときに達成感を感じるか、考えさせる。

たく生きⅡ…みつめる力(自己肯定感)を育てる授業プラン 73.「友達から見た自分らしさ」(P.91)

ねらい：誰にでも良いところがあることに気付く。
 ※活動を振り返り、それぞれの活躍について考えさせる。

ウ たく生きを連続させた実施例

たく 生き Ⅰ	1～2 週間	たく 生き Ⅱ	1～2 週間	たく 生き Ⅲ	1～2 週間	たく 生き Ⅳ
---------------	--------	---------------	--------	---------------	--------	---------------

(担任の思い)児童の人間関係を形成するために、「かかわる力」を集中的に育みたい。

たく生きⅠ…かかわる力を育てる授業プラン 1.「即興表現を楽しもう」(P.19)

ねらい：友達と心を合わせることの楽しさに気付かせる。

役割分担することの楽しさに気付かせる。

たく生きⅡ…かかわる力を育てる授業プラン 2.「体と頭を使って交流しよう」(P.20)

ねらい：友達と一緒に体を動かすことの気持ちよさに気付かせる。

友達のことを考えて動くことの楽しさに気付かせる。

たく生きⅢ…かかわる力を育てる授業プラン 4.「心と体をほぐそう」(P.22)

ねらい：優しく体をほぐしてもらおうと心もリラックスできることを感じ取らせる。

たく生きⅣ…かかわる力を育てる授業プラン 3.「気持ちを伝えよう」(P.21)

ねらい：気持ちを伝えることの大切さに気付かせる。

相手の気持ちを受け止めることの大切さを理解させる。

エ 職場体験活動に関連させた実施例

(担任の思い)職場体験活動の前後の指導を、体験だけで終わらせずより充実させたい。

(担任の思い)職場体験活動を、自分の将来を考えさせることに結び付けたい。

職場体験活動の**前**に実施する授業プランの例

みつめる力(自己肯定感)を育てる授業プラン 82.「自信をなくしたら」(P.100)

ねらい：自信をなくしたときは、自分にあった解決方法を覚えておくと、困難に立ち向かっていけることを理解させる。

みつめる力(自己肯定感)を育てる授業プラン 83.「4つのじんざい」(P.101)

ねらい：謙虚さや感謝の気持ちなど、人として大切なことを身に付けることで、自分の心が豊かになり、周りの人から信頼されるようになることを理解させる。

職場体験活動の後に実施する授業プランの例

うごく力を育てる授業プラン 34.「夢をかなえるには？」(P.52)

ねらい：仲間と協力して、目の前の目標を達成していくことの大切さを理解させる。

みとおす力を育てる授業プラン 65.「働き続けるには？」

(P.83)

ねらい：根拠を明らかにしながら話し合うことで、より考えが伝わることを理解させる。



いかす力を育てる授業プラン 54.「みんなが言っている」(P.72)

ねらい：偏りのない公正な見方をできるようにするためには、ものごとを多角的に見ることが大切であることを理解させる。

オ いじめ防止に関連させた実施例（高学年例）

(担任の思い)自分の良さに気付かせたり、友達の良さを認め合ったりすることができるようにしたい。

4月	7～9月	11月
たく生きⅠ	たく生きⅡ	たく生きⅢ

たく生きⅠ…みつめる力を育てる授業プラン 79.「他己紹介」(P.97)

ねらい：自分や友達が様々な面をもっていることに気付かせる。

たく生きⅡ…みつめる力を育てる授業プラン 95.「友達の悩み」(P.113)

ねらい：友達の気持ちや立場を理解し、気遣うことの大切さに気付かせる。

たく生きⅢ…みつめる力を育てる授業プラン 73.「友達から見た自分らしさ」(P.91)

ねらい：友達の良さを見つけ、伝えることができる。

友達に自分の良さを伝えてもらうことで、自分の良さを理解する。

5 こんなときにたく生きを

○グループ活動ができるようにしたい…というときは

たく生きはグループで話し合ったり、ロールプレイングを取り入れたりする活動を多く行っています。ねらいをおさえ、いろいろなプランを実践しながら、他の教科の授業にも活かしていきましょう。



○夢や目標をもってほしい…というときは

26.自分の目標を見つめなおそう (P.44)

<ねらい>

自分に合った目標をもつことが自分をより成長させてくれることを理解し、目標の立て方を工夫することができる。

<手立て等>

学期始めに立てた目標を、「実現できるか・やることははっきりしているか・振り返ることができるか・自分にとって大切なことか」という観点で振り返らせ、グループで話し合い、目標を修正する。



(児童の声)

「やることははっきりしていると何から始めたらいいかが分かるから、目標を達成できる気がする。」

<他のプラン>

- ・ 31.自分づくり夢教室 (P.49)
- ・ 35.社会人に必要とされている要素とは (P.53) など

○最近クラスでスマホの話題が多くてちょっと心配…というときは

94.ゲーム・スマホ・携帯と上手に付き合っていこう 1 (P.112)

100.ゲーム・スマホ・携帯と上手に付き合っていこう 2 (P.118)

<ねらい>

スマホの使用時間と学習成績との関係に気付き、一定のルールやマナーを守って自分の生活に活かそうとする。

<手立て等>

市標準学力検査の平均点とスマホや携帯の使用時間の関係を表したグラフを見て考えたことをもとに、スマホや携帯等を使用する際のルールづくりをさせる。

(生徒の声)

「全体でルールを決められるのはいやなので、自分でルールを決めて守っていくのは大切なことだと思います。」(生徒)



<他のプラン>

- ・ 44.情報はすべて正しいの? (P.62)
- ・ 53.テレビのニュースを見比べよう (P.71)
- ・ 17.相手を思いやるコミュニケーション (LINE・メール) (P.35) など

○子供たちのネガティブ思考を何とかしたい…というときは

49. どうしてケーキを残したの？ (P.68)

<ねらい>

問題を解決するためには、原因を一方的に決めつけずに、様々な角度から物事を見ることが大切であることを理解する。

<手立て等>

日頃生徒たちが実際に悩んでいることを問題として取り上げ、話し合いを通して様々な原因が考えられることを知り、視野を広げるきっかけにする。



(生徒の声)

「人と関わる上で様々なトラブルが発生することは理解していたが、自分は常にマイナス思考にとらえてしまい、毎日精神的苦痛を感じていた。しかし、今回は多方面から物事を見ることを学べたので、自分もこれから視野を広げてみようと思う。」

82. 自信をなくしたら (P.100)

<ねらい>

自信をなくしたときに、プラス思考で対処することを考える。

<手立て等>

生徒から出された自信をなくす場面について解決策を考え、グループとしての意見をプラス思考の形でまとめさせる。



(生徒の声)

「今まで自分はマイナス思考で考えてばかりだったため、プラス思考で考えることがあまりできなかった。しかし、みんなの意見を聞いてどう考えると良いかが分かった。」

○学級づくりに悩んでいる…というときは

たく生きには、お互いの考えを認め合う活動や、日常生活にすぐ活かすことができる内容がたくさんあるので、実態に応じてプランをアレンジして実践してみましょう。

<おすすめプラン>

- ・ 11. 人間コピー (P.29)
- ・ 69. ふわふわことばでいいところさがし (P.87)
- ・ 73. 友達から見た自分らしさ (P.91)
- ・ 81. X からの手紙 (P.99) など多数

○たく生きを実践したいけど時間がとれない…というときは

1コマ(45分・50分)で行うことが難しいときは、朝の会や短学活などの時間を活用しましょう。また、年間の計画を立てて(P.8~11参照)、「この時期にはあのプランを」というものを前もって決めておくことをおすすめします。

6 たくましく生きる力育成プログラムの評価

たくましく生きる力育成プログラムにおいても、各学校の目標及び育成する能力・態度、教育内容・方法等との関係から、児童生徒にどのような力が身に付いたのかを適切に評価することが必要です。そのためには、自分づくり教育で育む5つの力について、学校または学年で、どのような児童生徒の姿を目指していくのか、その具体を明確にしておく必要があります。(P.8 全体計画例中段参照) 各校の、自分づくり教育の全体計画の中に明記されている「めざす児童生徒の姿」を確認し、学級の実態も踏まえて、「こんな児童生徒にしたい!」「こんな学級にしたい!」という具体的な姿を設定しましょう。

たくましく生きる力育成プログラムの授業プランごとのねらいは、授業プランの上部、矢印の形をしたブロックの中に明記しています。ねらいに迫ることができたかどうか、児童生徒の活動の様子や振り返りの感想等を通して、児童生徒の変容や成長を丁寧に見取る(アウトカム評価) ことを心掛けましょう。

一方、内容によってはその1時間のみでは児童生徒の変容を見取ることが難しいものもあります。授業のねらいと、その時間の活動の実際、そして授業後の児童生徒の変容を踏まえた上で、複数時間(単元)の学習を通して見取るなど、中・長期的な評価の視点も併せもって実施してください。

自分づくり教育では、その児童生徒の内に個人として育まれているよい点や、成長の状況を積極的に評価すること、それを通して児童生徒自身も自分のよい点や、成長の状況などに気付かせることを大切にしています。そのため、児童生徒自身が自己の成長や、活動を通じた成果と課題をどのようにとらえているかという視点での自己評価を重視しています。

たくましく生きる力育成プログラムにおいても、自己評価を重視していくことが大切です。授業のまとめの場面では、自己の考えを確認し、自身の心の成長に気付かせていきましょう。ワークシートに記述欄を作成し、細やかな振り返りを行ったり、自己評価の結果をグラフ化して掲示したりしている実践も数多くあります。ワークシートは前述のとおり、学びの連携推進室 Web ページにて配信しておりますので、参考にしながら活用してください。

たくましく生きる力育成プログラムにおける評価は、児童生徒の変容や成長を丁寧に見取り、その結果から児童生徒の現状と課題を明らかにして、次の実践に反映させていくために欠かせないものです。ねらいに照らし合わせた児童生徒の変容・成長を見取り、その結果を、自分づくり教育の実践の点検改善につなげることを意識した評価を工夫していきましょう。

(参考) たく生き授業プラン集には、実施時期や学校行事との関連を工夫することで、児童生徒の成長をより促すことができるものがたくさんあります。いくつかの例を挙げますので、参考にしてください。

1. 学年の始め、学期の始めに使える授業プラン

新しい人間関係づくりのために

【小学校低学年】

1. 即興表現を楽しもう
2. 体と頭を使って交流しよう
3. 気持ちを伝えよう
4. 心と体をほぐそう
5. 「にほんごであそぼう」(百人一首を例に)
68. あなたにとって、ともだちってなに？

【小学校中学年】

9. さわやかな自己主張
10. あいさつは自分を変える第一歩
11. 人間コピー

【小学校高学年】

11. 人間コピー
12. 話の聞き方と話の伝え方
13. 途切れないように！会話のリレー
78. 私はだれ？
79. 他己紹介
91. 心の10点アップ運動

【中学校】

17. 相手を思いやるコミュニケーション(LINE・メール)
19. ノンバーバルコミュニケーション
20. 決めつけられないよ～昔話の模擬裁判～
78. 私はだれ？
79. 他己紹介
91. 心の10点アップ運動



目標設定のために

【小学校低学年】 21. わたしががんばりたいこと

【小学校中学年】 24. 千里の道も一歩から 25. 星野さんのチャレンジ

【小学校高学年】 26. 自分の目標をみつめなおそう

27. 目指す自分に近付くための目標の立て方を考えよう

【中学生】 32. 「リセット」と「リカバリー」 34. 夢をかなえるには？

2. 学校行事などの前後に使える授業プラン

校外学習、学習発表会、防災訓練、部活動、職場体験等を効果的に実施するために

【小学校低学年】 39. シャボン玉が生まれたよ 69. ふわふわことばで いいところさがし

【小学校中学年】 42. 音のスケッチ

【小学校高学年】 15. 泉ヶ岳の自然とともに

27. 目指す自分に近付くための目標の立て方を考えよう

【中学生】 51. 我が子への手紙 65. 働き続けるには？ 80. 先輩・後輩の関係

81. Xからの手紙 101. 防災思考力を高めよう

3. 進路を考え始める時期に使える授業プラン

進級や進学、進路について考える機会とするために

【小学校低学年】【小学校中学年】 71. 自分への手紙

【小学校高学年】 29. こんな時、どうやって決める？ 30. 夢をかなえるために必要なこと

【中学生】 34. 夢をかなえるには？ 35. 社会人に必要とされている要素とは

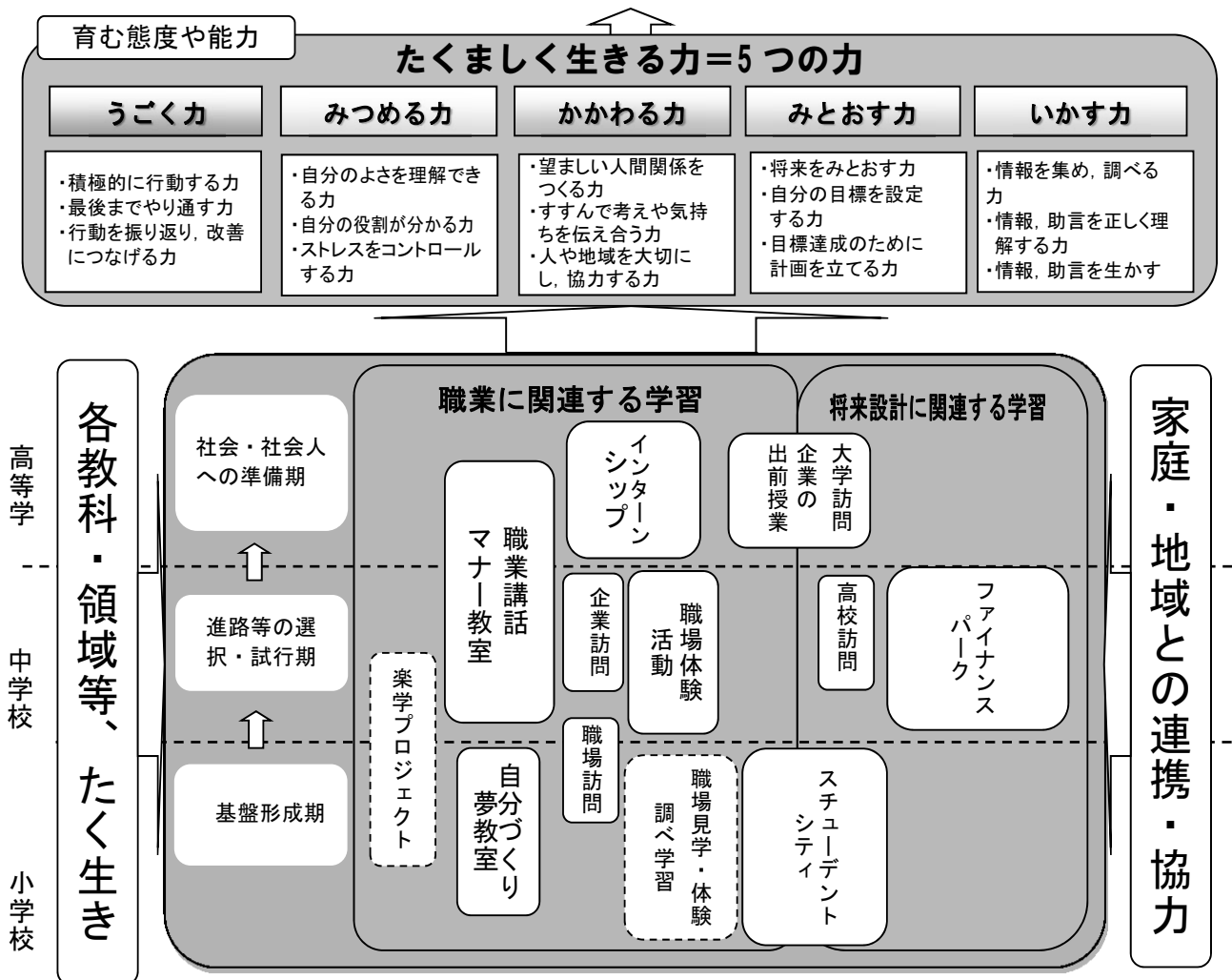
7 自分づくり教育とたくましく生きる力育成プログラム

「仙台自分づくり教育」で育む5つの力を、たくましく生きる力の総称としています。たくましく生きる力育成プログラム（略称：たく生き）においても、素地となる知恵・態度を同時に育みながら、5つの力の育成を目指しています。

自分づくり教育の全体像

ねらい

児童生徒が自ら学ぶ意欲をもち、人や社会との関わりを大切にしながら、将来の社会的・職業的自立に必要な態度や能力を育む。



子供たちの将来の「社会的な自立」を内面から支える力を「たくましく生きる力」と定義し、外部有識者を交えた検討委員会で議論してきたところ、「見方・考え方」「人間関係形成力」「心・態度」などにかかわる能力が重要であるという結論が出た。その具体的内容についてさらに議論を深め、「たくましく生きる力」が教育課程上のどのような位置にあるのかを検討したところ、同じく「社会的な自立」に焦点を当てた「仙台自分づくり教育」で育む5つの力と同義であるという結論を得た。

このような経過を踏まえ、「仙台自分づくり教育」で育む5つの力の総称を「たくましく生きる力」としている。

5つの力とたく生きで身に付けさせたい「知恵・態度」の関連表（暫定版）

うごく力	みつめる力	かかわる力	みとおす力	いかす力
積極的に行動する力	自分のよさを理解できる力	望ましい人間関係をつくる力	将来をみとおす力	情報を集め、調べる力
決断する 価値の想像力 自分を向上させようとする チャレンジする 好奇心 自信	自分のよさに 気付く 他者を理解する 自己を理解する 聴く力 自信	相手の意をくむ 異質なものとの出会いを楽しむ 相手の気持ちを考える 他者を理解する自己を理解する 聴く力 他者に関心をもつ 人間好き	見方の多様さに気付く 視点を変えて見る 予測する	批判的思考 関係付ける意味付ける 因果関係を見付ける 視点を変えて見る 五感で感じるよく見る
最後までやり通す力	自分の役割が分かる力	すすんで考えや気持ちを伝え合う力	自分の目標を設定する力	情報、助言を正しく理解する力
夢の力 覚悟を決める 乗り越える力 リカバリーできる力 強い意志	自分の問題として考える 自分の価値に気付く	伝達力 気持ちを伝える会話を弾ませる 相手を気遣う 自分を表現する	伝達力 選択する 分類する 比較する	公正な見方 背景を見る 立場の違いを理解する 見方の多様さに気付く
行動を振り返り、改善につなげる力	ストレスをコントロールする力	人や地域を大切にし、協力する力	目標達成のために計画を立てる力	情報、助言を生かす力
自己マネジメント力 自己反省力 自分の問題として考える	気持ちをコントロールする 気持ちをみつめる方法を知る 自分の気持ちを整理する いろいろな気持ちを知る	仲間と競い合える 仲間と助け合える 多様性の理解	戦略的思考 構想力 分かりやすく相手に伝える	論理的思考 視点を変えて考える 順序付ける 立場による表現の違いを知る 視点を決めて見る

※この表は、P.2 の資料をもとに作成しています。子供たちに身に付けさせたい「知恵・態度」は、P.2 の資料やここで示したものの以外にもあり、社会の変化によっても今後変わってくるものと捉えています。そのため、この表は暫定版とし、今後も加除修正を繰り返していくものとします。